



TREE HOUSE FOR NEXT 1000 YEARS

ツリーハウスの街



森の潤滑油
「拓匠開発」のロジック

「木」と「家」を扱う企業としての使命
住宅購入者の人生をより豊かにする
千年の森での感動体験

「ツリーハウスの街」サイクル

ツリーハウスが増えるほど、ツリーハウスの街が賑やかになるほど、次の1000年の森へ持続していく。

森の手入れをする仲間を求めて、千年の森に取り入れたのが、「ツリーハウスをつくるために木を選び、森に間借り代を払う」という仕組み。購入した人が自分の手でツリーハウスをつくるということは、環境を整備するために、その周辺の森の手入れをする人が増えるということ。その仕組みを企業として拓匠開発がサポートし、送客・集客を促し、「ツリーハウスの街」として盛り上げる。森の仲間を増やし、森が管理され続ける状況をつくるサイクルです。

森の仲間が必要

××
〰

運営会社の数人だけでは無理

現状 問題点

○千年の森
森の手入れをする仲間が必要

- 運営会社では広大な森の手入れ/管理が行き届かない
- 森に関わる人が少ない、もっと多くの人に関わってもらいたい

打開策 啓蒙（機会と誘導）

○拓匠開発
木造の住宅をつくる企業として
接点があるからこそ、
森を守っていく使命がある。

ツリーハウスの街をつくる

森の潤滑油 拓匠開発が森に関わる人として住宅購入者を継続的に誘致していく&呼び込んでいく

継続して循環させていく

4 持続可能な森へ

- 千年の森
森に関わる人が増え、人と共存する森として持続する
- 拓匠開発
住宅購入者の生活の豊かさに貢献できる

この森の中で、ツリーハウスの街が継続して成長し、発展し続けることが一番意義があるんだ！



1 気づきと再確認

- 住宅購入者
 - ・森に感動、本来の人間のリズムに気がつく
 - ・次の1000年の森と自分の関わりについて考える
 - ・共に訪れる家族との関係上も他では得られない体験ができる
- 拓匠開発
住宅購入者が、森について興味を持つきっかけをつくることできる

森の手入れをしたい

森が管理される

3 整備の継続

- 住宅購入者
よりよい滞在/体験をするためにツリーハウス周辺の環境を整備
- 拓匠開発
ツリーハウスの街を発展させていく呼び込み活動ができるようになる

2 関係者の増加

- 千年の森
ツリーハウスが増える
→ **森の手入れをしてくれる仲間が増える**
- 住宅購入者
口コミや実際にほかの知人を連れて行くなどの拡散

森の仲間（森の手入れをする人）が増える

